

**OLYMPUS**

Your Vision, Our Future

# オリンパスグループ 2013年3月期 第3四半期 決算概要

オリンパス株式会社  
取締役専務執行役員 グループ経営統括室長  
竹内 康雄

2013年2月12日

- I. 2013年3月期 第3四半期連結業績およびセグメント別概況**
- II. 2013年3月期通期見通し**
- III. 中期ビジョンの進捗および主なスケジュール**

---

# I. 2013年3月期第3四半期連結業績 およびセグメント別概況

① 医療事業が引き続き堅調

② 自己資本比率が大きく改善

③ 中期ビジョンが着実に進捗

# 2013年3月期 第3四半期実績 ①連結業績概況

(単位:億円)	2012年3月期 3Q累計(4-12月)	2013年3月期 3Q累計(4-12月)	増減額	前年 同期比	為替影響、情報通信事 業譲渡の影響調整後
売上高	6,247	5,612	△634	△10%	△0%
販管費 (販管費率)	2,576 (41.2%)	2,503 (44.6%)	△73 (+3.4pt)	△3%	-
営業利益 (営業利益率)	260 (4.2%)	246 (4.4%)	△13 (+0.2pt)	△5%	+14%
経常利益 (経常利益率)	150 (2.4%)	87 (1.6%)	△63 (△0.8pt)	△42%	
当期純利益 (純利益率)	△331 (-)	76 (1%)	+407	-	
<b>&lt;為替レート・影響額&gt;</b>					
円/US\$	79円	80円	+1円(円安)		
円/Euro	111円	102円	△8円(円高)		
売上高への影響額	-	△56億円			
営業利益への影響額	-	△41億円			

- 3Q決算のポイント**
- ✓ 医療事業が好調に推移し、為替・情報通信事業譲渡の影響を除くと前年同期比+14%の営業増益
  - ✓ 非事業ドメイン、固定資産等の売却益を、3Q以降も計上

# 2013年3月期 第3四半期実績 ②セグメント別業績

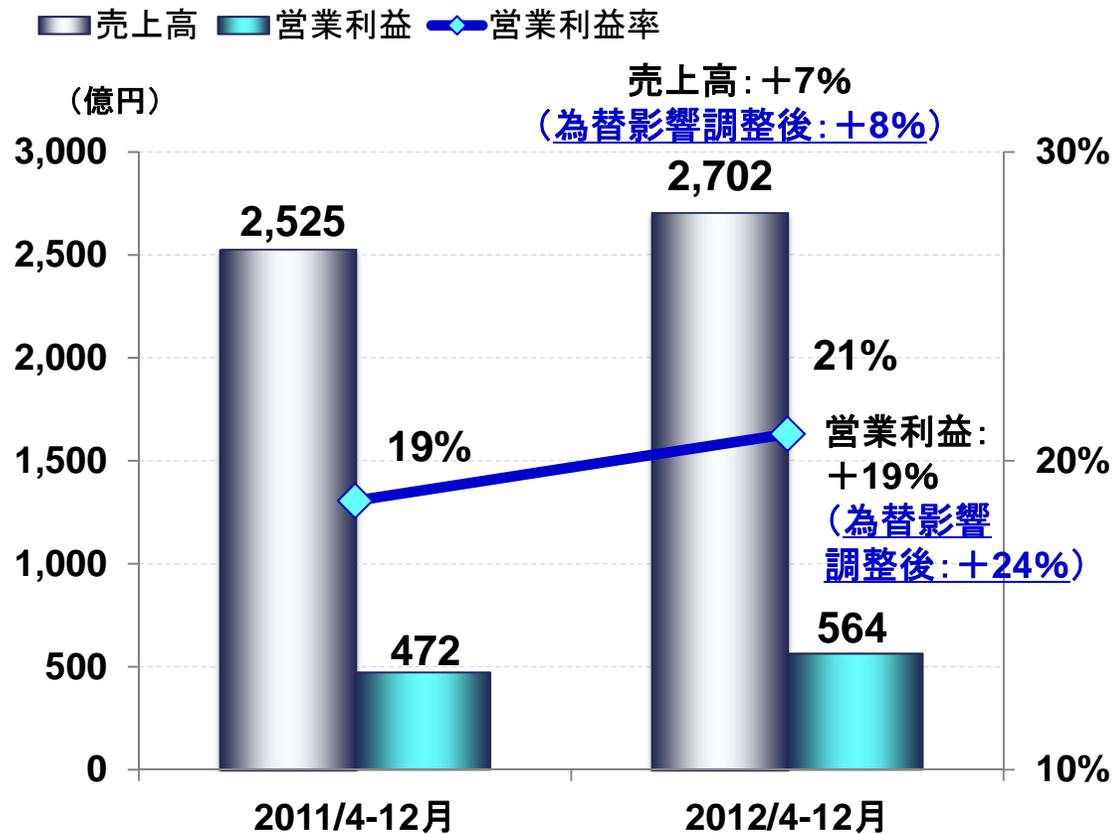
- ◆ 医療事業は前年同期比で大幅増収増益
- ◆ 情報通信事業を2Qに譲渡(3Q以降の決算数値には含まず)

(単位:億円)		2012年3月期 3Q累計(4-12月)	2013年3月期 3Q累計(4-12月)	増減額	前年 同期比	為替、情報通信事業 譲渡の影響調整後
医療	売上	2,525	2,702	+177	+7%	+8%
	営業利益	472	564	+92	+19%	+24%
ライフ・産業	売上	659	575	△84	△13%	△12%
	営業利益	35	12	△23	△66%	△66%
映像	売上	1,048	869	△179	△17%	△16%
	営業利益	△38	△88	△50	-	-
情報通信	売上	1,640	1,142	△498	△30%	+3%
	営業利益	36	17	△19	△53%	△30%
その他	売上	374	324	△50	△14%	△13%
	営業利益	△52	△33	+19	-	-
全社・消去	売上	-	-	-	-	-
	営業利益	△193	△226	△33	-	-
連結合計	売上	6,247	5,612	△634	△10%	△0%
	営業利益	260	246	△13	△5%	+14%

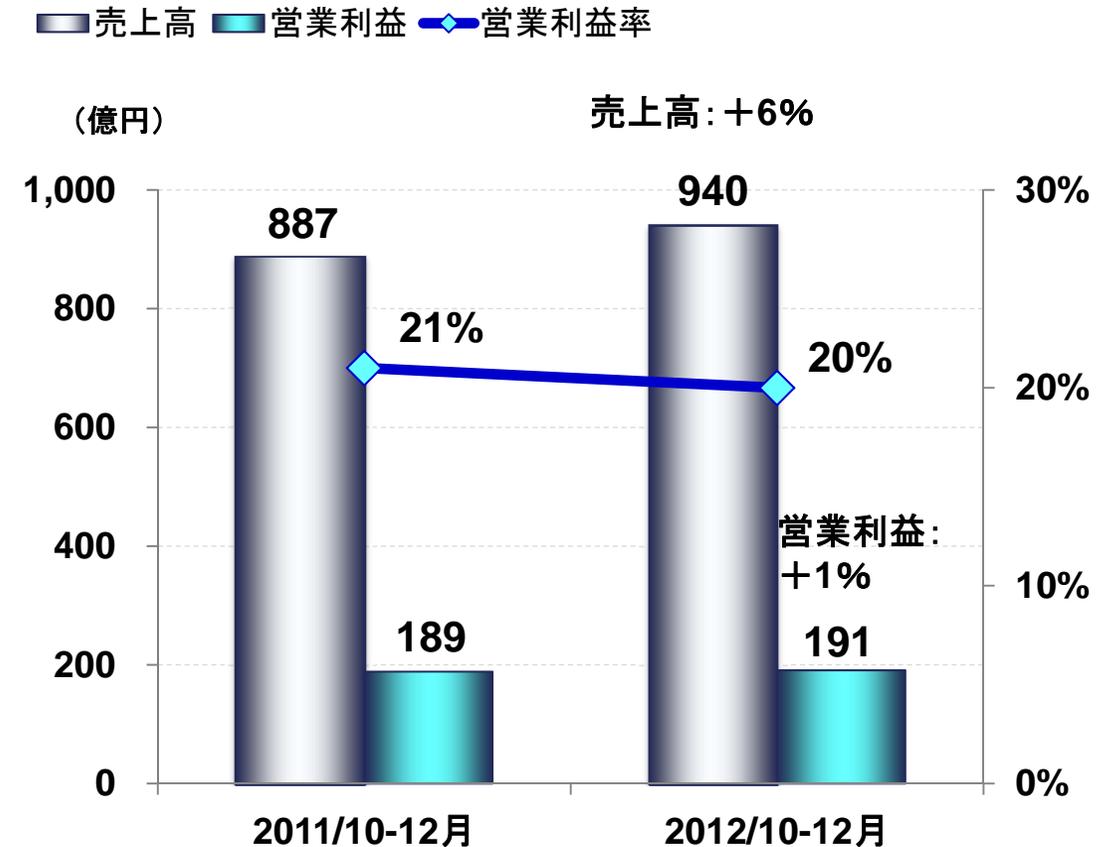
# 2013年3月期 第3四半期実績 ③医療事業

- ◆ 主力の消化器内視鏡に加えて、外科内視鏡も新製品の販売が好調
- ◆ 収益性の高い内視鏡分野の増収が寄与し、営業利益率が改善

## 第3四半期累計(4-12月期)

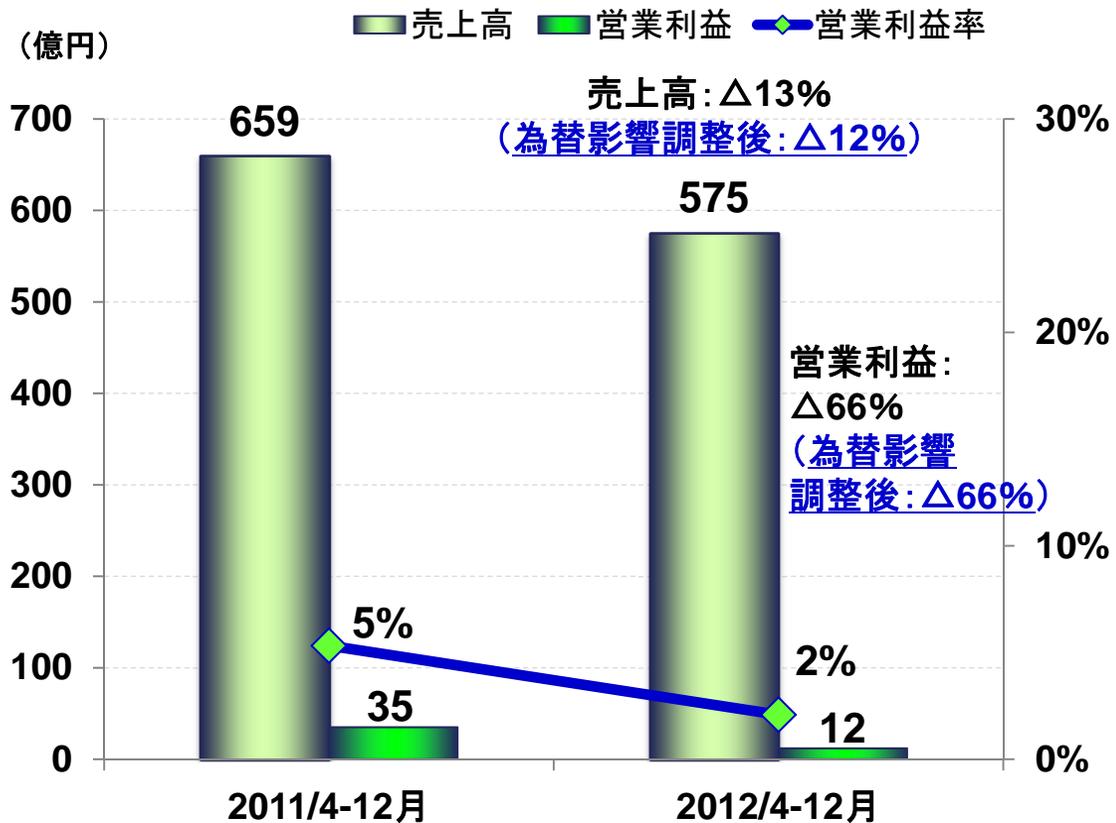


## 3Q (10-12月期)

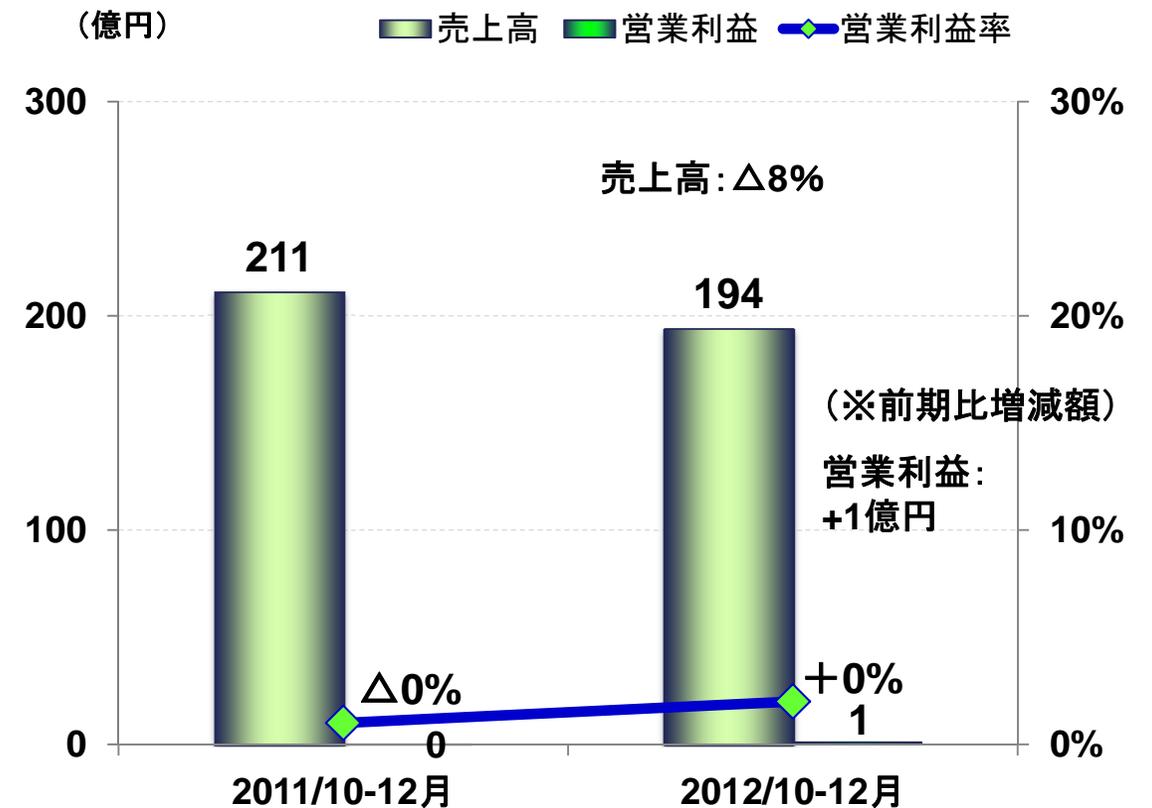


## ◆ 民間設備投資抑制や政府予算執行遅れ等により減収減益

### 第3四半期累計(4-12月期)



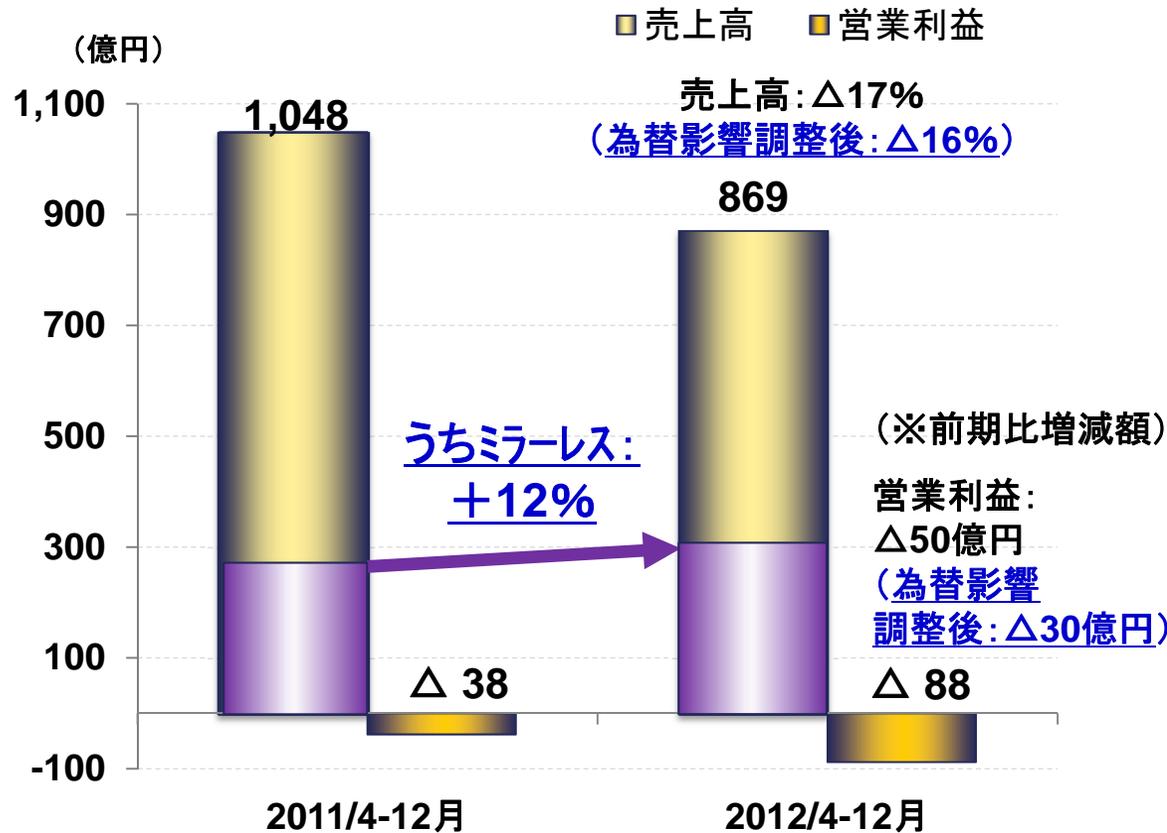
### 3Q (10-12月期)



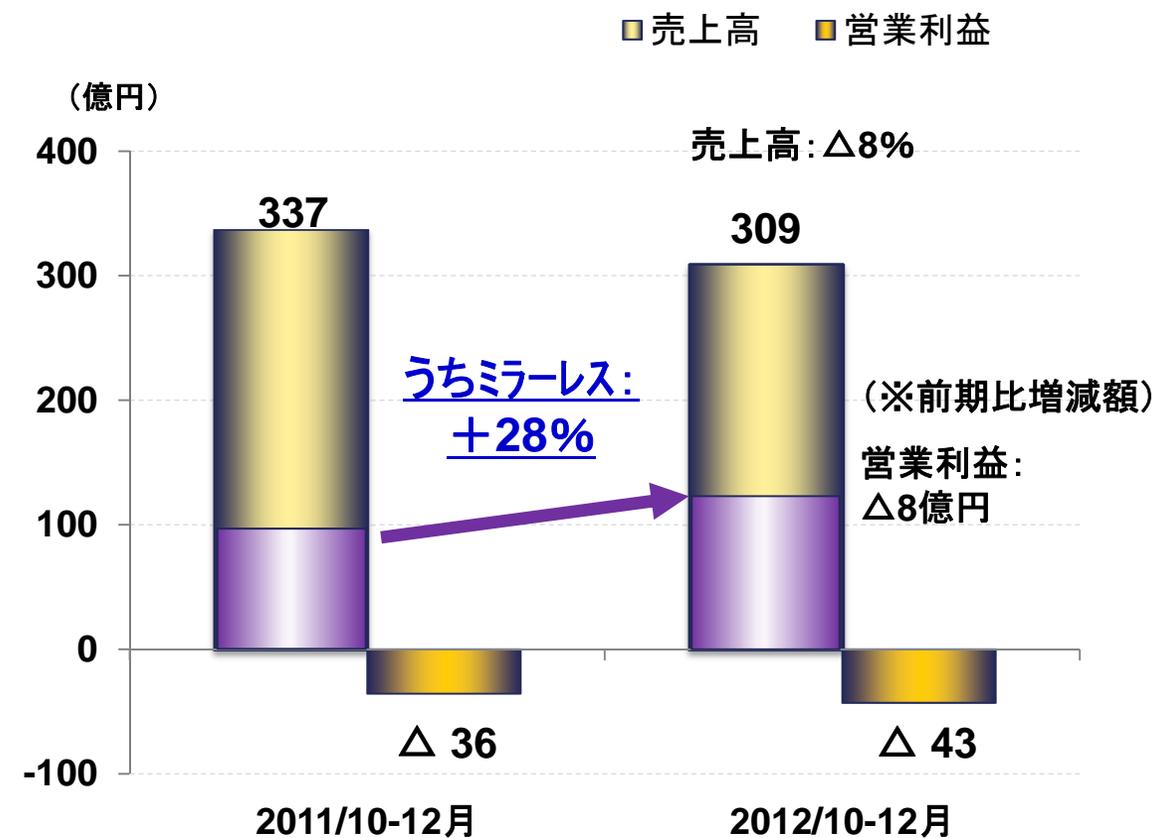
# 2013年3月期 第3四半期実績 ⑤映像事業

- ◆コンパクトカメラ市場が急速に縮小する中、当社のコンパクト売上也減少
- ◆OM-D、PEN新製品が寄与し、ミラーレスは3Q(10-12月期)に28%増収

## 第3四半期累計(4-12月期)



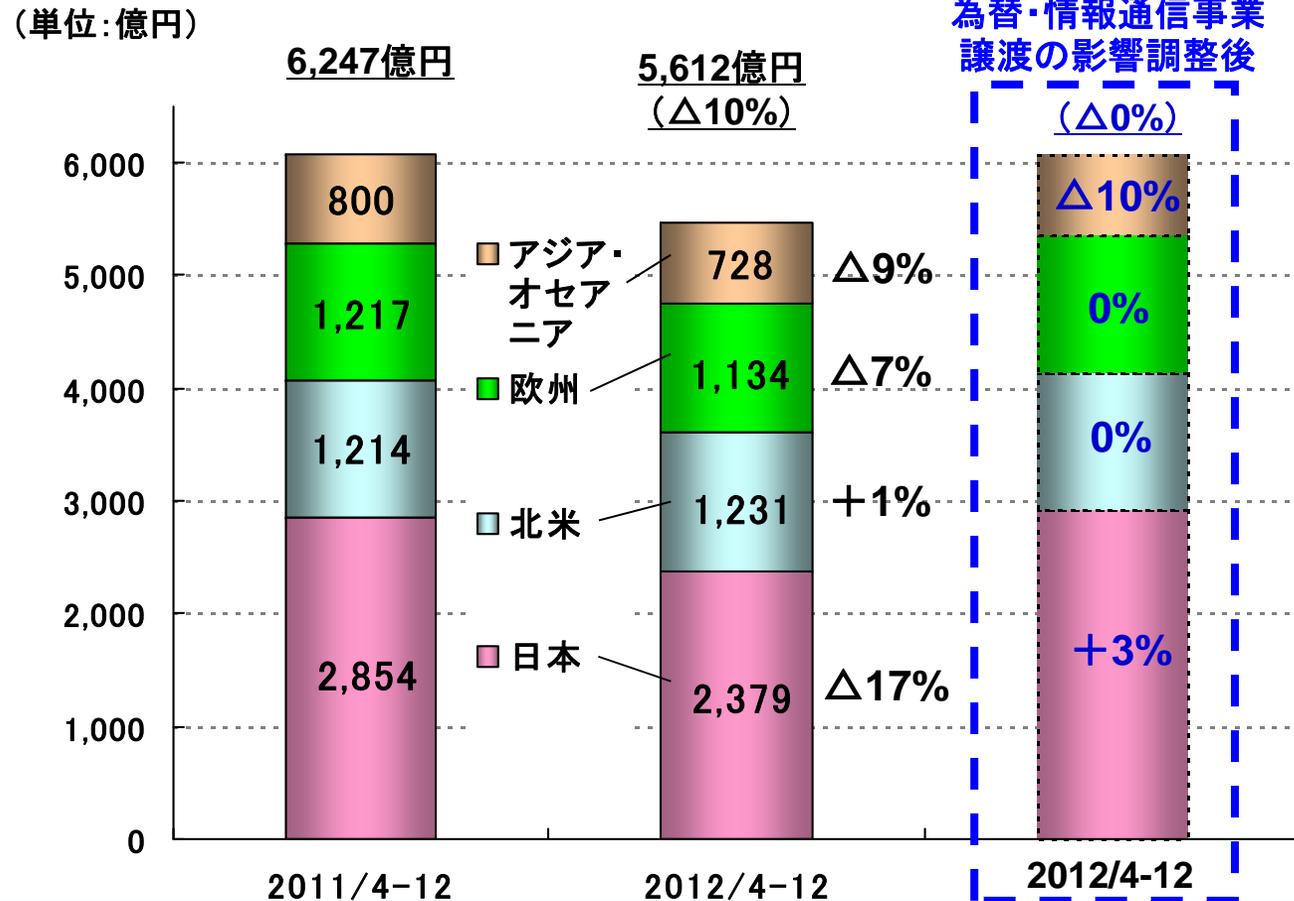
## 3Q (10-12月期)



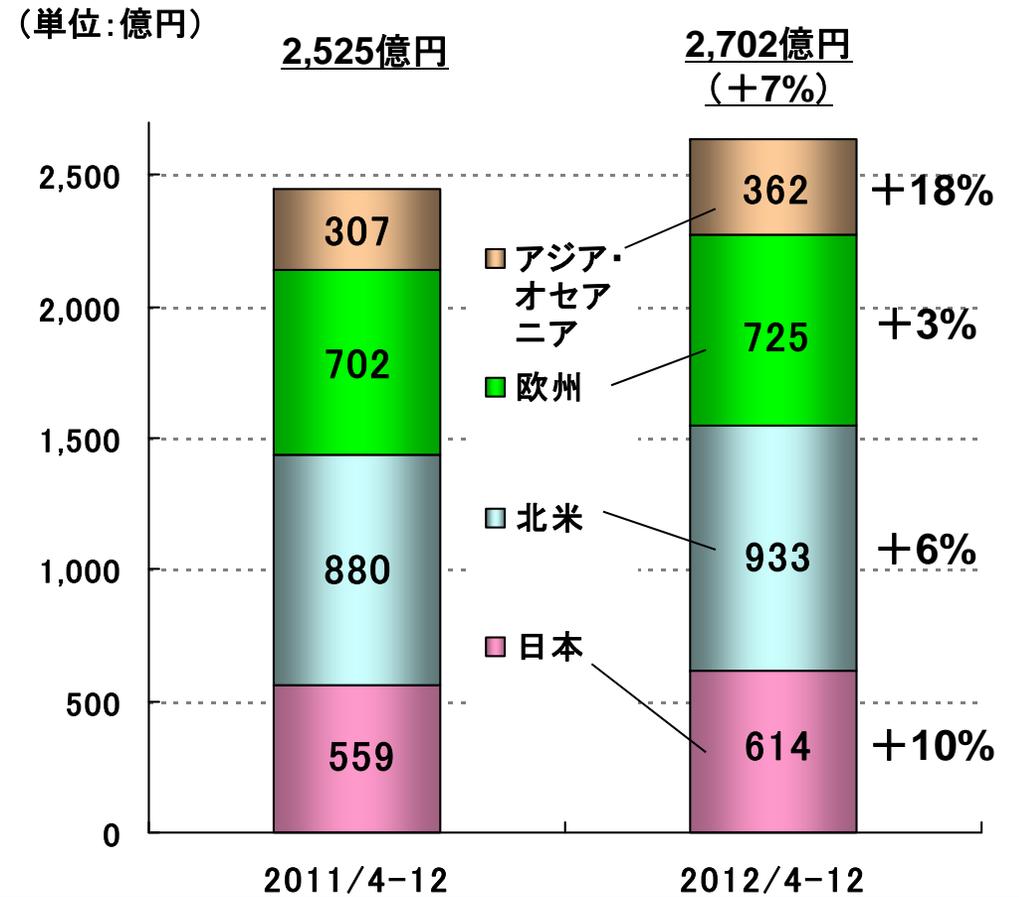
# 2013年3月期 第3四半期実績 ⑥仕向地別売上高

- ◆ 欧州経済危機、中国情勢の影響等により、アジア・欧州では減収
- ◆ 医療事業は全地域で増収、全体を大きく牽引

## 第3四半期累計 連結業績 (4-12月期)



## 医療事業 (4-12月期)



# 貸借対照表(2012年12月末)

## ◆ 自己資本比率が前期末より5ポイント改善、約10%の水準に回復

(単位:億円)	2012年 3月末	2012年 12月末	増減		2012年 3月末	2012年 12月末	増減
流動資産 (デジカメ在庫)	5,266 (236)	5,163 (287)	△102 (+52)	流動負債	3,204	3,239	+35
有形固定資産	1,278	1,271	△7	固定負債 (内:社債・長期借入金)	5,981 (5,303)	5,005 (4,362)	△976 △941
無形固定資産	1,971	1,695	△277	純資産	480	919	+439
投資その他資産	1,150	1,034	△117	(自己資本比率)	(4.6%)	(9.7%)	(+5.1pt)
資産合計	9,665	9,163	△502	負債 純資産 合計	9,665	9,163	△502

有利子負債: 5,962億円(2012年3月末比 △462億円)  
 純有利子負債: 3,832億円(2012年3月末比 △591億円)

# キャッシュフローの状況(2012年4-12月)

(単位:億円)	2012年3月期 3Q (2011年4-12月)	2013年3月期 3Q (2012年4-12月)	増減
売上高	6,247	5,612	△634
営業利益	260	246	△13
(%)	4.2%	4.4%	+0.2pt
営業CF	276	0	△276
投資CF	△261	354	615
財務CF	△51	△314	△264
キャッシュフロー	△36	39	76
フリーキャッシュフロー	14	354	339
現金及び現金同等物期末残高	2,002	2,077	75
減価償却費	248	243	△5
のれん償却額	95	74	△21
設備投資額	239	206	△33

---

## II. 2013年3月期通期見通し

# 2013年3月期 連結通期見通し

(単位:億円)	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (今回見通し)	前期比 増減額	前期比 (%)	2013年3月期 (11/12発表時)
売上高	8,485	7,400	△1,085	△13%	7,570
営業利益 (営業利益率)	355 (4.2%)	350 (4.7%)	△5	△2%	380 (5.0%)
経常利益 (経常利益率)	179 (2.1%)	115 (1.6%)	△64	△36%	160 (2.1%)
当期純利益 (当期純利益率)	△490 (-)	60 (0.8%)	+550	-	80 (1.1%)
<b>&lt;為替レート・影響額&gt;</b>					
円/US\$	79円	83円	+3円(円安)		80円
円/Euro	109円	107円	△2円(円高)		100円
売上高への影響額	-	+90億円			△152億円
営業利益への影響額	-	+2億円			△57億円

(※)4Q(1-3月)の為替前提レート:  
円/US\$ = 90円、円/Euro=120円

# 2013年3月期 セグメント別業績見通し

## ◆ 医療事業は円安も追い風に好調に推移、当初計画を大きく上回る見通し

(単位:億円)		2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (今回見通し)	前期比 増減額	前期比 (%)	2013年3月期 (11/12発表時)
医療	売上	3,492	3,900	+408	+12%	3,780
	営業利益	682	840	+158	+23%	750
ライフ・産業	売上	924	850	△74	△8%	910
	営業利益	54	20	△34	△63%	40
映像	売上	1,286	1,100	△186	△14%	1,290
	営業利益	△108	△160	△52	-	△80
情報通信	売上	2,294	1,142	△1,152	△50%	1,142
	営業利益	53	17	△36	△68%	17
その他	売上	489	408	△82	△17%	448
	営業利益	△80	△67	+13	-	△47
全社・消去	売上	-	-	-	-	-
	営業利益	△246	△300	△54	-	△300
連結合計	売上	8,485	7,400	△1,085	△13%	7,570
	営業利益	355	350	△5	△2%	380

---

# III. 中期ビジョンの進捗および主なスケジュール

# 中期ビジョンの進捗(2012年4月～12月)

## ① 事業ポートフォリオの再構築・経営資源の最適配分

- ◆ 非事業ドメインの整理: 子会社・関連会社約30社を清算・売却等により削減  
(10月以降では、国内子会社ネットプロテクションズを40億円で売却)
- ◆ 経営資源の戦略投下: 医療事業の主要製造拠点(会津、白河、青森)の生産能力増強決議  
(2015～16年に操業開始予定)
- ◆ 映像事業の再建: 2012年3月末より1割強の要員減少  
販管費を前年同期比で約40億円削減 ⇒さらなる抜本的な改革を検討中

## ② コスト構造の見直し

- ◆ 要員の最適化: 2,700人の削減目標に対して5割の進捗
- ◆ 製造拠点再編: 全世界30拠点を22拠点に集約

## ③ 財務の健全化

- ◆ 自己資本比率: 約4%(9月末時点)から、約10%へ改善
- ◆ 資本増強: ソニーとの資本提携により第1第三者割当増資190億円の払込完了
- ◆ 有利子負債圧縮: 462億円圧縮(2012年12月末残高5,962億円)

## 主なスケジュール(予定)

2013年1月21日	東証へ「内部管理体制確認書」を提出
2月	ソニーによる第三者割当増資の払込 (第2第三者割当増資:310億円、第1・第2合計500億円)
~4月	ソニーとの医療事業に関する合併会社を設立
5月15日	2013年3月期決算発表
6月下旬	定時株主総会

**OLYMPUS**

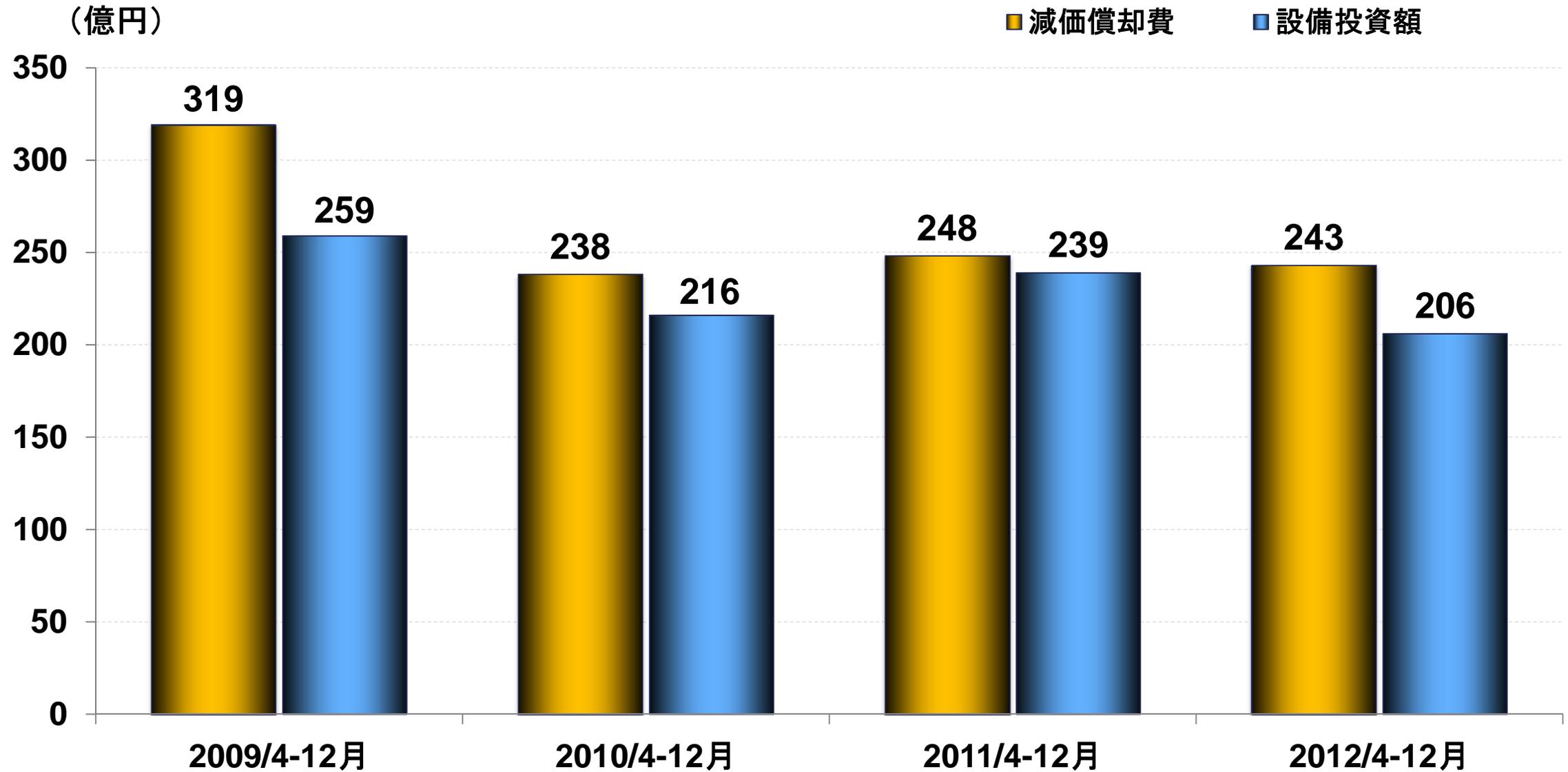
---

Your Vision, Our Future

---

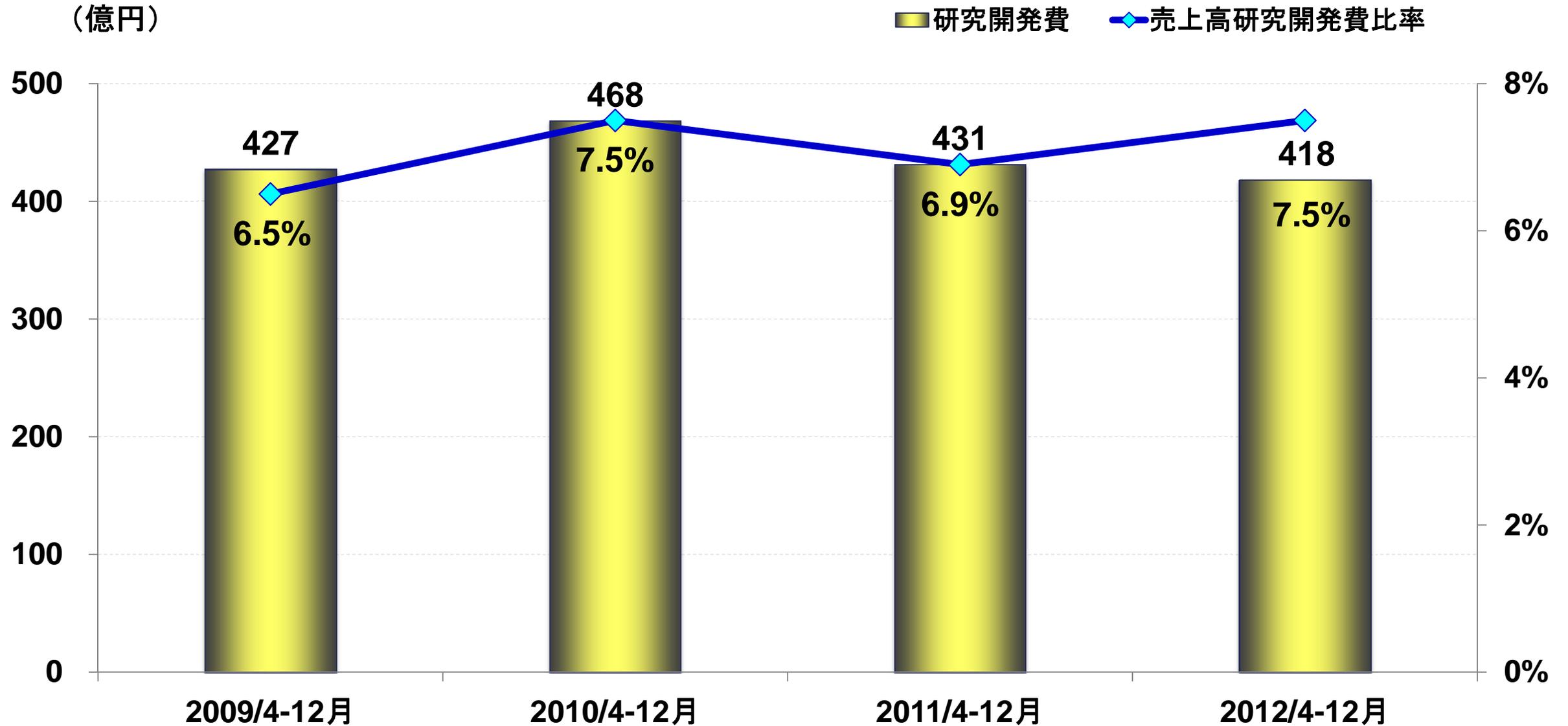
# 参考資料

# 設備投資・減価償却費

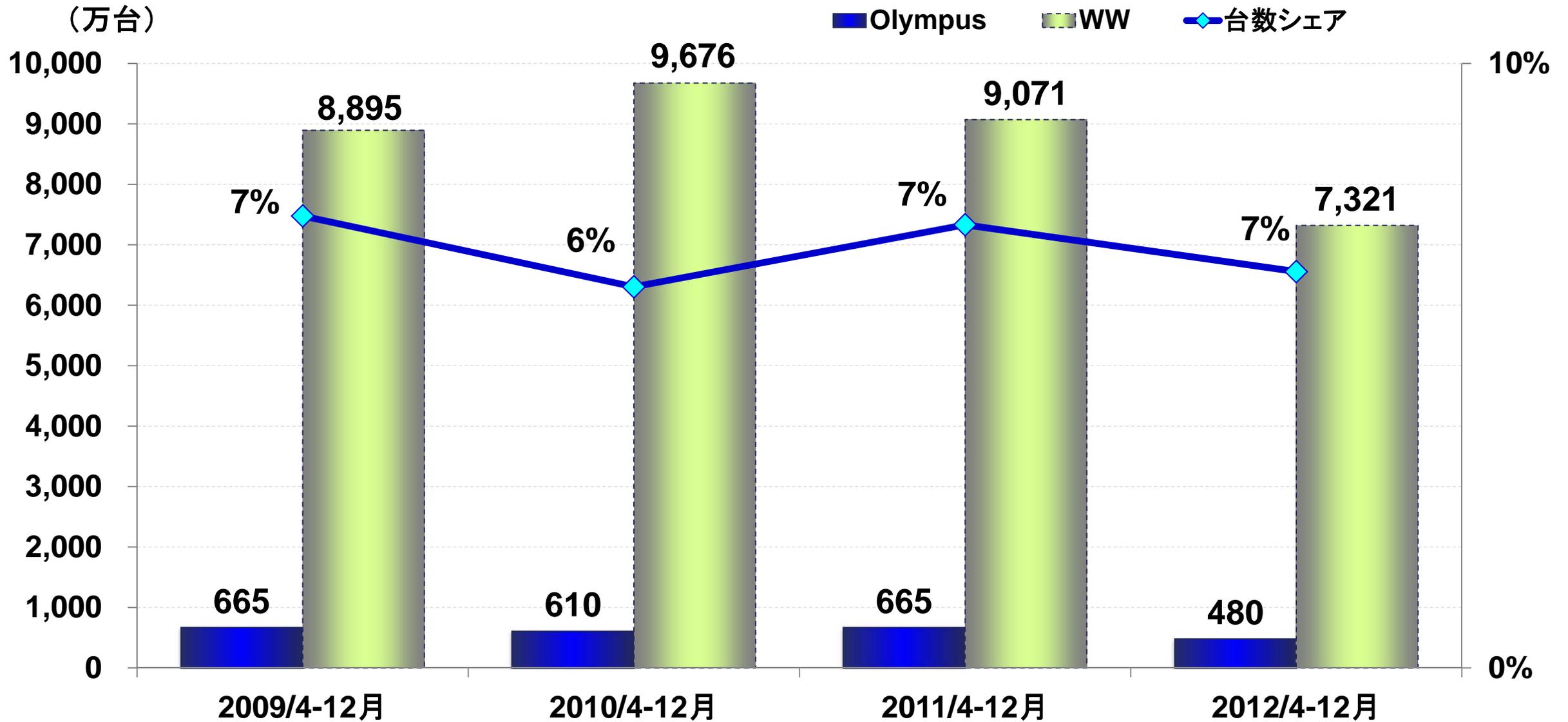


# 研究開発費

(億円)



# デジタルカメラ



---

本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。